

■ ごあんない

2 季節のたより 186「オオオナモミ」/ もくじ / 11月の広報カレンダー

■ 特集

4 令和2年度 決算

9 大河ドラマリレー企画
嵐山町版

■ まちよりのたより

10 可燃ごみの処理方法が変わります

12 小倉城跡の歩き方 第2回 / マイナビ
ポイントの申請は12月31日まで

14 寄附をいただきました / 税を考える週
間 / 年末調整説明会取りやめのお知らせ /
木のくにときがわまつりの中止 / 税務署
アルバイト職員の募集 / ため池ハザード
マップを作成 / 訓練放送(緊急地震速報)を
実施

16 埼玉県最低賃金のお知らせ / 障害者駐
車場は空けておこう / 裁判員説明会 / 女性
の人権ホットライン強化週間 / 合併浄化槽
への入れ替え

18 児童虐待防止推進月間 / ケアラー月間 /
秋の火災予防運動 / 関口茂八奨学金制度
のお知らせ

■ Information 暮らしの情報

20 こそだて / ほけん / そうだん

22 ぼうはん / かんきょう / としょかん

24 情報のページ

26 新型コロナウイルスに関連する支援内容
/ 観光協会ここから通信 11月号

28 城西大学通信第23回 アピオスでナシ
ゴレンのアレンジレシピ / 防災行政無
線テレホンサービス / 町民文芸 俳句

3 人口と世帯(10月1日現在)
総人口 10,810人 (-6人)※0は前月比
9月の動き 出生 4人 死亡 19人
転入等 28人 転出等 19人
男 5,504人(+6人) 女 5,306人(-12人)
世帯数 4,761世帯(+6世帯)
過去のデータはHPで見ることができます。

11月の広報カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	今年度中止決定イベント			

◆ 木のくにときがわまつり (産業祭、木のくにまつり、文化祭)

◆ 熟年オリンピック

◆ ときがわ町駅伝競走大会

【表紙】【裏表紙】玉川保育園の園児のおさんぽを写した、日常風景です。

広報ときがわ【第188号】 令和3年10月22日発行
編集・発行 ときがわ町総務課
〒355-0395 埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川2490番地
TEL 0493-65-1521(代表) FAX 0493-65-3631
ホームページアドレス http://www.town.tokigawa.lg.jp
メールアドレス info@town.tokigawa.lg.jp

防災行政無線テレホンサービス(無料) ☎080-0800-8432

ときがわ町の位置
東経 139度
北緯 36度
海拔 64m
面積 55.90 平方m

オオオナモミ

季節のたより 186

日本原産の『オナモミ』を追い出して
日本種に居座ってしまったとか



【オオオナモミ】
(裏表紙にカラー写真を掲載)

夏は猛暑にやられ、台風の猛威におびえ、
昨年から続いている「新型コロナ」に生活
の自由は奪われ、こんな時季、植物の世
界はというと、家の近くを出歩いてみて、
いつもの年と同じような雰囲気を感じられ
るように思いますが、大きく繁った野草の
茂みの中へ踏み込んでみると、これまでは
あまり見かけなかったような顔をした植物
に出会うことができるように思います。そ
うした中で不思議な生き方をしている植物
の一つ、『オオオナモミ』について書いて
みたいと思います。

『オオオナモミ』は「きく」科の帰化植

物で、野原や市街地の空き地、河川敷、道
端に普通に生えている一年草の植物です。
形態は、茎は短い毛によって覆われてい
ざらつきがあり、草丈50〜200cm余にな
ります。草全体は紫褐色をしていて、茎に
は稜があり、葉は広卵形をしていて、長さ
5〜15cm余もあり、3〜5個に裂けていま
す。葉の縁には荒い鋸歯状の切れ込みがあ
り、裂片の先端は針状に尖っています。表面
は細かい毛におおわれています。花は9〜
12月に開花します。

名前は同じ仲間に『オナモミ』という我
が国自生の植物がありますが、それと比べ
てみると、形態は両者がよく似ていて、以
前にこの植物を見かけたとき、こんなに草
丈が高かったらうか、とあまり気にせず
見過ごしてしまっていたのではないかと思
い、いくつかの植物図鑑で何回か調べてみ
ましたが、環境の変化によって大きく成長
したのだからに考えて納得していた
のですが、改めて調べなおしてみたり、多

くの先輩の説に触れたりしているうちに、
どうも日本在来の『オナモミ』が、同じ仲
間の帰化植物『オオオナモミ』に故郷の日
本を追い出されてしまったのではないかと
みることもできるようになりました。とい
うのはこの頃『オナモミ』の姿を見かける
ことができなくなっているように思えるか
らです。

『オナモミ』の仲間には『メナモミ』『ブ
タクサ』『タカサブロウ』などといったあ
まり見かけることができないような種があ
りますが、子どもの頃には、これらの植物
のとげの生えた丸い実を採って、これが着
物によくくっつく性質を持っていたので、
投げ合って遊んだことがありましたが、昔
の懐かしい遊びの一コマだったように思
います。

今年もあと一か月余で、新しい年を迎え
るわけです。そうしたときに別に慌てるわ
けではありませんが、せめていくつかの非
常事態は捨て去って新しい年の幕開けに万
歳を送りたいものと思います。木陰や岩陰
のぬくもりの中で、時季外れの開花をして
いる『ハコベ』や『ノミノツヅリ』に励ま
されでもするように…。

写真・文 / 小林一公さん(本郷地内)